



人も 地球も 健康に

**Yakult**

# 会社概要

## 2025–2026

# OUR PHILOSOPHY

## 企業理念

私たちちは、生命科学の追究を基盤として、  
世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

ヤクルトの創始者で医学博士の代田 稔は、病気にかかるから治療するのではなく、病気にかかるないようにする「予防医学」を志し、微生物研究の道に入ります。

そこで腸の中の悪い菌を抑える乳酸菌のはたらきに着目。1930年、生きたまま腸内に到達して、有益な作用を発揮する乳酸菌の強化培養に成功します。それが、今日「乳酸菌 シロタ株」と呼ばれている「L. パラカゼイ・シロタ株※」です。

その後、「乳酸菌 シロタ株」を、一人でも多くの人々に摂取してもらうため、有志と共に安価でおいしい乳酸菌飲料として製品化し、1935年に乳酸菌飲料「ヤクルト」が誕生しました。

世界の人々の健康を守りたい。代田 稔の情熱と発想、飽くなき探究心は、今も、脈々と受け継がれています。

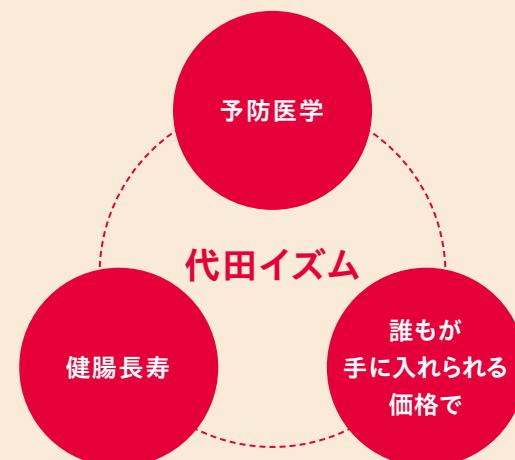
※ 2020年3月以前はL. カゼイ・シロタ株と分類されていました。

## コーポレートスローガン

人も 地球も 健康に

**Yakult**

人が健康であるためには、人だけではなく周りのものすべてが健康でなければなりません。ヤクルトは、水、土壤、空気、動物、植物、そして人々が織りなす社会、これらすべてが健康であって初めて、人は健康的に生活できるのであり、健全な社会が築かれるのだと考えています。



## ヤクルトの原点、代田イズム

創始者である代田の考えを「代田イズム」と呼び、現在もすべての事業の原点としています。

### 予防医学

病気にかかるから治療するのではなく、病気にかかるための「予防医学」が重要である。

### 健腸長寿

ヒトが栄養素を摂る場所は腸である。腸を丈夫にすることが健康で長生きすることにつながる。

### 誰もが手に入れられる価格で

腸を守る「乳酸菌 シロタ株」を一人でも多くの人に、手軽に飲んでもらいたい。



代田 稔 (シロタミノル) 1899~1982

## 事業別概要

ライフサイエンス(生命科学)を基盤に、乳酸菌飲料等を取り扱う飲料食品事業を日本国内から海外に拡大しています。その他、化粧品事業等も展開しています。

### 飲料食品(日本)

創始者の代田 稔は、1930年、乳酸菌の強化培養に成功。1935年には、この「乳酸菌 シロタ株」を飲料とした「ヤクルト」が誕生しました。1963年、「ヤクルト」の普及に向けて、ヤクルトレディによるお届けシステムを全国展開しました。国内飲料食品事業分野の商品には、「ヤクルト」等の乳製品乳酸菌飲料、「ジョア」等のはっ酵乳、そして、清涼飲料があります。

[商品情報はこちら](#)



### 飲料食品(海外)

世界中の人々に健康を届けるため、現地生産、現地販売を基本とする「現地主義」で「ヤクルト」ブランドのグローバル化を進めています。1964年の台湾を皮切りにアジア・オセアニア、米州、ヨーロッパへとネットワークを広げ、現在日本を含め40の国と地域で「ヤクルト」を販売しています。

[国際事業展開はこちら](#)



### その他

その他事業部門には、化粧品やプロ野球興行があります。化粧品は、オリジナル保湿成分「S.E.(シロタエッセンス)」の価値普及活動に重点を置き、愛用者数の増大に努めています。プロ野球興行については、ファンの皆さまの期待に応えられるようチーム力の強化に取り組むとともに、各種ファンサービスの充実を図っています。

[Yakult Beautiensはこちら](#)



### 事業領域の拡大

長期ビジョン「Yakult Group Global Vision 2030」で掲げる「世界の人々の健康に貢献し続けるヘルスケアカンパニーへの進化」のため、プロバイオティクスを核として、「ヘルス&ビューティー」「メディカルニュートリション」「アニマルヘルス」等、事業領域の拡大を進めています。

[Yakult Wellness Onlineはこちら](#)



## 数字で見るヤクルト (2024年度)

## 売上高

**4,996億円**

- ▶ 国内 **2,429億円**
- ▶ 海外 **2,387億円**

注: その他+調整額 179億円



## 営業利益

**553億円**

- ▶ 国内 **374億円**
- ▶ 海外 **367億円**

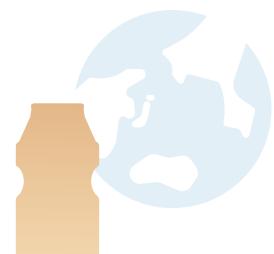
注: その他+調整額 ▲187億円



## グローバル乳製品本数※1

**3,824万本/日**

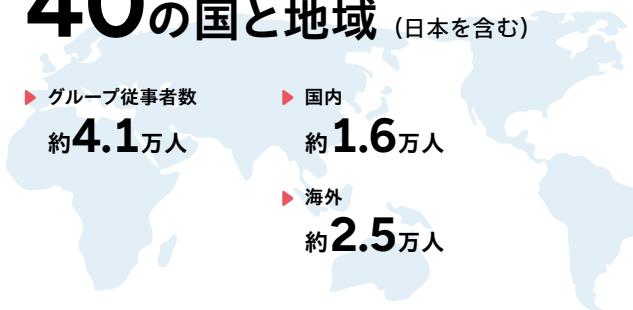
- ▶ 国内 **968万本/日**
- ▶ 海外 **2,856万本/日**



## 展開国・地域※1

**40の国と地域** (日本を含む)

- ▶ グループ従事者数 **約4.1万人**
- ▶ 国内 **約1.6万人**
- ▶ 海外 **約2.5万人**



## ヤクルトレディ※1

**81,288人**

- ▶ 国内 **31,341人**
- ▶ 海外 **49,947人**



## 出前授業・健康教室※2への参加人数

**約1,838万人**

- ▶ 国内 **約64万人**
- ▶ 海外 **約1,774万人**



# 長期ビジョン Yakult Group Global Vision 2030

ヤクルトは、「世界の人々の健康に貢献し続けるヘルスケアカンパニーへの進化」を目指し長期ビジョン「Yakult Group Global Vision 2030」を2021年に策定しました。これまで培ってきた経営資源を活かし、地域・社会との共生を図りながら、一人ひとりの健康に寄り添う価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

あるべき姿  
企業理念の実現

機会  
ヘルスケア領域の拡大

変化  
ビジネス・社会環境の変化

## Yakult Group Global Vision 2030

### 世界の人々の健康に貢献し続けるヘルスケアカンパニーへの進化

[Yakult Group Global Vision 2030はこちら](#)



世界の一人でも多くの人々に  
健康をお届けする

重点テーマ

#### グローバル展開の強化

- ・「健腸長寿」をより多くの人々にお届けする
- ・誰もが商品を手に入れやすい環境づくりに向けた新たなチャネルを展開する
- ・予防医学と治療医学の両輪で人々のすこやかな暮らしを応援する

定性目標

一人ひとりに合わせた「新しい価値」を  
お客様へ提供する

重点テーマ

#### 事業領域の拡大

- ・一人ひとりの健康課題に合わせた、商品およびサービスの展開により、次世代の健康を提供する
- ・世界の人々の健康ニーズに応える「ヘルスケアブランド」へと進化する
- ・地域に密着した販売組織、お客様個々とのつながりを活かし、健康寿命の延伸に貢献する

人と地球の共生社会を実現する

重点テーマ

#### 環境課題への対応

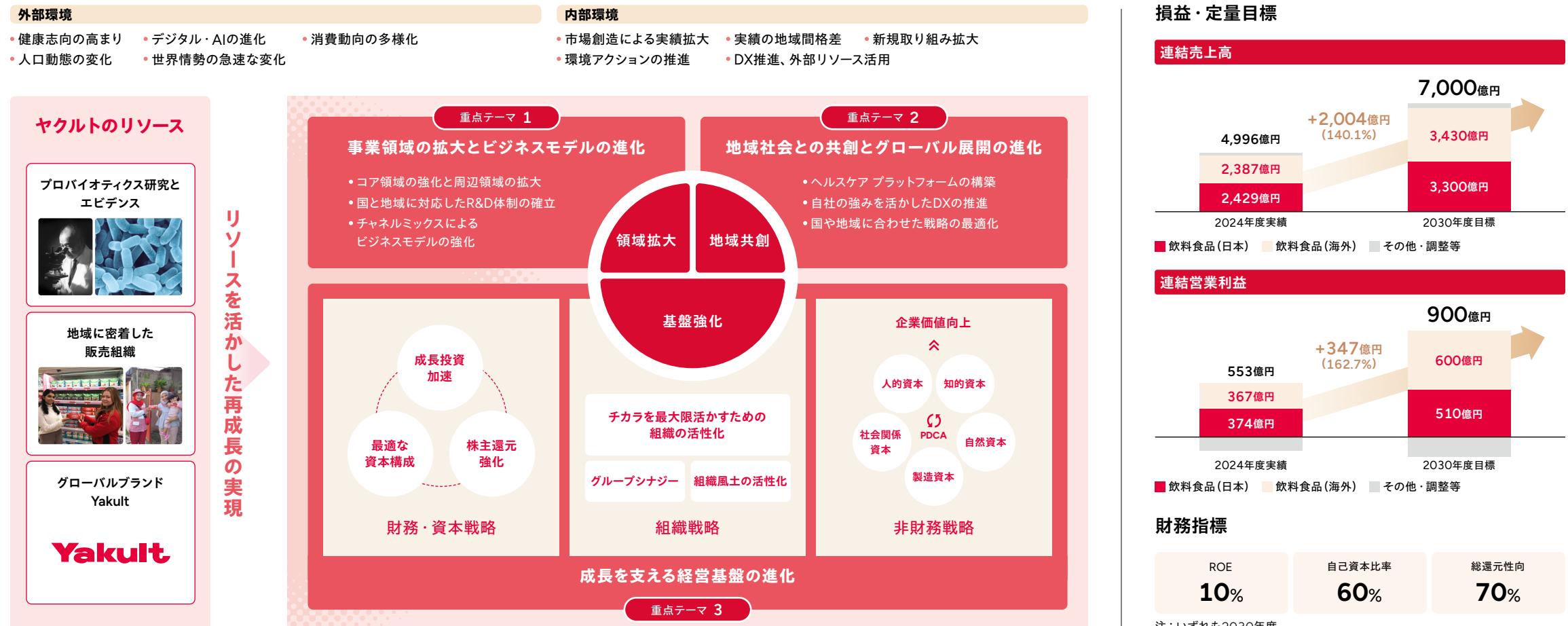
- ・地域と共生し、環境と調和しながらグローバル企業として社会的責任を果たす
- ・持続可能な社会の実現に貢献する
- ・健康的な生活習慣の定着と「安全・安心」な地域づくりを行う

# 中期経営計画(2025-2030)

## Shape Our Own Future 積極的な挑戦をカタチにし100周年に向け自らの手で未来をつかみ取る

2025年度から2030年度の6年間を対象期間とする新たな中期経営計画を策定しました。3つの重点テーマを設定し、当社が保有するリソースを活かした再成長の実現を目指します。

長期ビジョン「Yakult Group Global Vision 2030」の達成にとどまらず、2035年の創業100周年に向け、内外環境の変化に的確に対応し、積極的な挑戦を続けていきます。



# 会社概要 (2025年3月31日現在)

## ヤクルト本社

商号	株式会社ヤクルト本社 (Yakult Honsha Co., Ltd.)
設立	1955年4月9日
本社	東京都港区海岸1丁目10番30号
事業所	研究所(1)、支店(5)、工場(7)、 物流センター(12)、医薬品配送センター(1)
資本金	311億1,765万円
従業員	2,859人

注：上記従業員数には、関係会社等への出向者448人および  
嘱託170人(出向者37人を含む)を含んでいます。

## ヤクルトグループ

### 国内

販売会社	101社(うち連結子会社17社) 注：(株)ヤクルト東海の子会社4社を除く
ボトリング会社	6社(連結子会社)
従事者数	12,712人 注：2025年4月1日現在
ヤクルトレディ	31,341人
ヤクルトビューティ	2,992人
関係会社等	13社、4団体
海外 (2024年12月31日現在)	
事業所数	27事業所
研究拠点	1か所
従事者数	24,709人 ヤクルトレディ 49,947人
販売地域	39の国と地域

## 株式情報

上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	2267
事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
臨時株主総会	必要に応じ随時
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
発行可能株式総数	1,300,000,000株
発行済株式総数	342,090,836株
株主数	134,918人

## 国内販売会社・海外事業所・海外研究拠点

### 北海道

札幌ヤクルト販売(株)
南北海道ヤクルト販売(株) ○
苫小牧ヤクルト販売(株)
岩見沢ヤクルト販売(株)
釧路ヤクルト販売(株)
帯広ヤクルト販売(株)
北見ヤクルト販売(株)
室蘭ヤクルト販売(株)
(株)ヤクルト北海道 ○

### 姫路ヤクルト販売(株)

### 中国

### 中部

### 東北

### 四国

### 九州

### 近畿

### 沖縄

○は連結子会社

### 海外事業所

注：営業開始順

中東ヤクルト販売(株)




<tbl\_r cells="1" ix="4" maxcspan="1" maxr

## 株式会社ヤクルト本社

<https://www.yakult.co.jp>



### Information

ヤクルトお客様相談センターでは、お客様から商品に関するご質問・ご意見を承っています。

フリーダイヤル(通話料無料)

 0120-11-8960

受付時間 10:00~16:00  
(土・日・祝日・夏季休業・年末年始等を除く)

メールでのお問い合わせは   
こちらから